
発表日：2023年12月22日

当社における DXの取り組み

株式会社宇和島プロジェクト

〒798-0006 愛媛県宇和島市弁天町2丁目1番66号

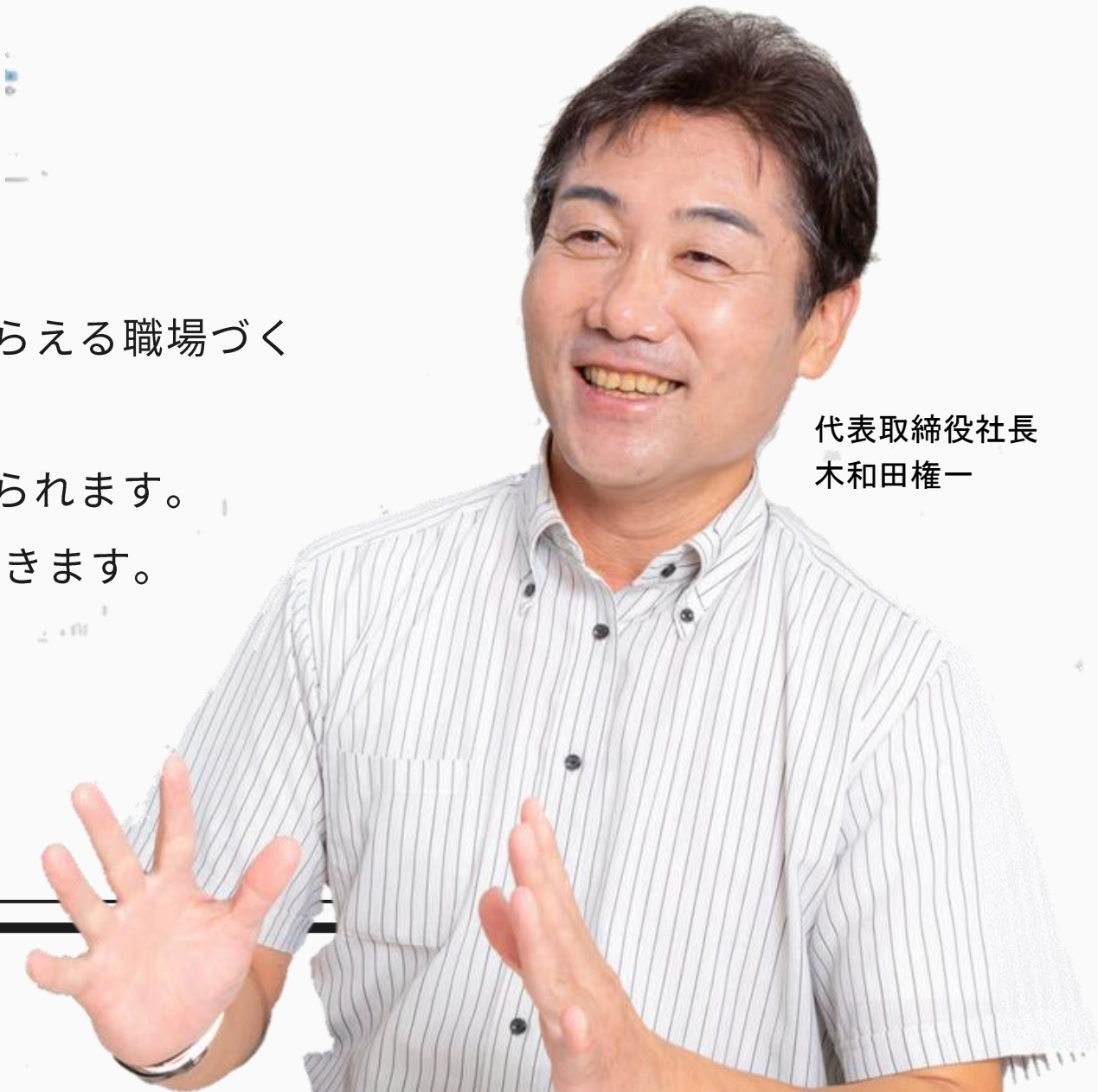
<https://www.project-u.jp/>

効率化の推進による生産性の向上

現在、わが社は大きな成長を続けています。しかし、近年の環境の変化は大きく、特に人口減少や少子高齢化といった要因により、従来の経営手法の継続だけでは限界を感じるようになりました。この限界によるひずみは従業員の定着率の低下に現れるだろうと見ております。わが社の成長のためには、従業員の成長、定着率の向上が必須になります。

今以上の成長を目指すために、DXによる効率化を推進していきます。そして、従業員の皆が個々に最適な仕事と生活のバランスをとれるようにして長期就業をしてもらえる職場づくりを進めていかないとはいけません。従業員の満足度と会社の成長を両立していくには効率化の推進による生産性の向上が必須と考えられます。その達成のためにDXを推進し、従業員の満足度の充実に伴ったさらなる会社の成長を目指していきます。

さらに、この動きを成功させてわが社のビジネスに関わる人たちへも拡大させていき、皆様の生活を豊かにしていく。そうして、地域・産業・社会の発展に貢献してきます。



代表取締役社長
木和田権一

DX推進の具体的な方策

電子黒板・モニター・
AI・AR・VR
の積極的活用

ペーパーレス化のための
システム利用

クラウドシステムの
活用

生産性向上のための
業務効率化



電子黒板・モニター・ AI・AR・VRの積極的活用

ウェブ会議のための機器である電子黒板の利用促進を行い、WEB会議システムを営業活動、社内会議、社員教育等に活用していきます。

教育ツールとして閲覧可能な録画再生小型モニターを導入し、動画を作成、活用していきます。

AI・AR・VRを漁場確認ツールとして積極的に導入、検証を行うことで業界の旗振り役となります。



ペーパーレス化 システム利用

紙ベースの業務の見直し、
システム導入の検討や業務の見直しを行い、
デジタル化を推進、
ミスなく正確な業務遂行を行う仕組みを構築します。



クラウドシステム活用

Googleを全社で積極的に使用し、
従業員間・部署間での連携を促進とします。
Googleワークスペースを利用してのデータ連携、
Googleカレンダー機能を用いた全社員のスケジュール見える化
など積極的な活用を進めます。
ローカル作業、マクロ等のクラウド化を行うことで
データ共有や業務連携が円滑なDX 基盤を整備、
将来のシステム拡張性も確保します。

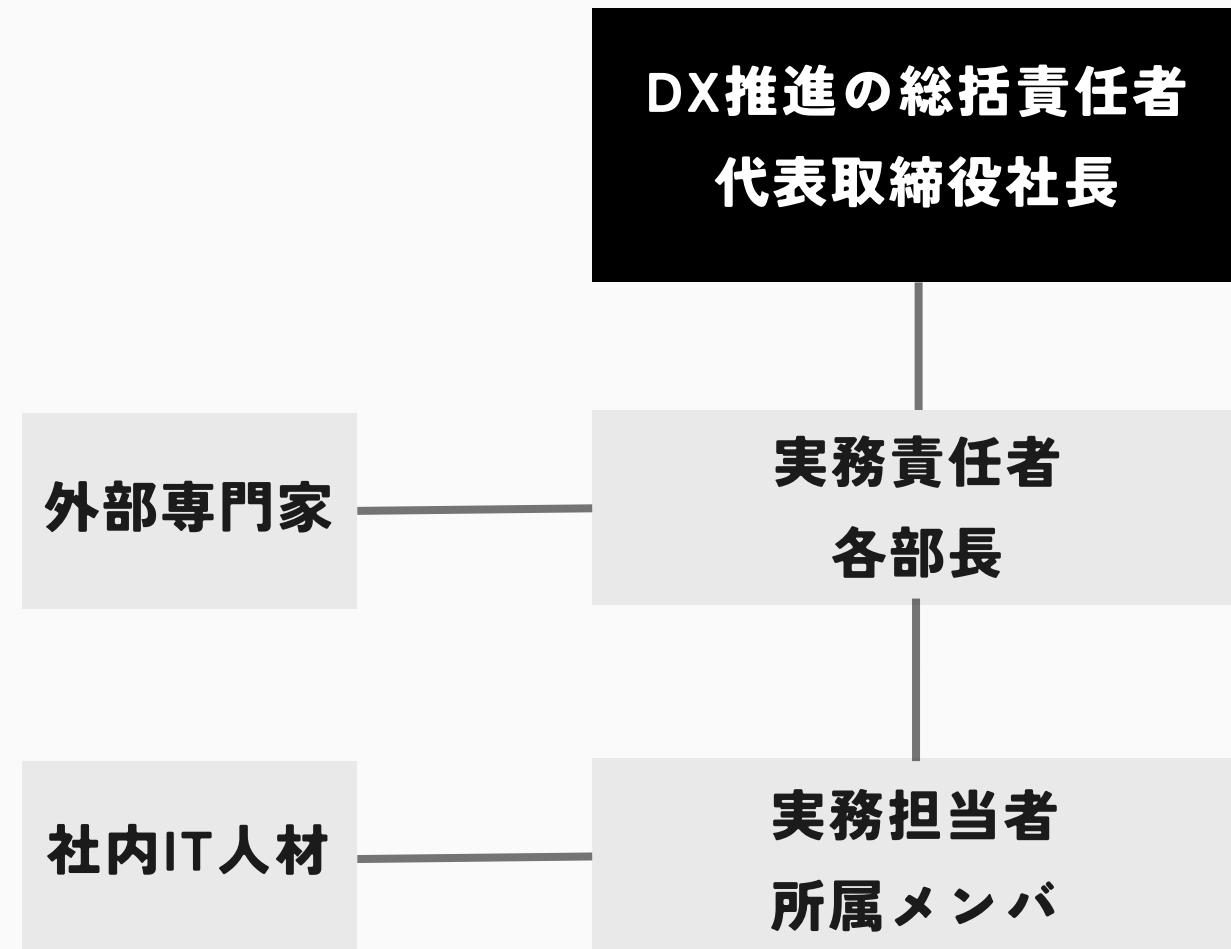


生産性向上 業務効率化

既に導入済の基幹システムの利用促進、教育を強化し、必要に応じて機能追加・改修などを行い、基幹業務の最適化を行います。

受注量から最適な作業計画を自動生成し、効率的な人員配置を算出するシステムの導入を検討します。
また、加工場内のカメラやセンサーを用いて、加工場の生産状況・稼働率などをデータ化、それらのデータを活用した予測や原価管理によって加工工場の稼働率向上、生産性をあげ労働負荷の軽減を行います。





推進の権限不足をなくすため、代表取締役社長がDX推進の統括責任者となり、

各実施事業部門の部長を実務責任者とします。

DX推進事項の実務については、各部門の実務担当者が主体的に実施します。また、社内のIT知識を有する人材と外部のIT専門家の協力を得ながら、実施を進め、実務担当者のITリテラシーの強化とスキルアップを図ります。

新規システム導入時の検討や教育については、実施事項に長けた外部機関を積極的に活用します。

優秀なデジタル人材についても採用を強化し、社内外、部門問わずに全社的な取組みを行うことで効果的な業務体制を確立していきます。

DX推進の達成状況をはかる指標(KPI)

会社がより発展し従業員の満足度向上のためにDXを推進、以下の項目を指標とします。

トライアル数(件数)

システム化、
効率化のためのデジタル機器導入、
ペーパーレス化
のトライアル数 (件数)



離職率 (%)

従業員の離職率減少
※就労1年未満の退職を除く
※定年退職を除く

